

基幹科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
観光概論			13426	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
一尾 敏正	選択	2	ホテル勤務			

授業の到達目標

新成長戦略の分野として観光は注目されている。観光を単なる物見遊山と見るのではなく、学問として捉えていく。観光学の入門講座である。観光概論において履修者の到達目標は、①観光「Tourism」を理解する②観光の歴史を理解する③観光の背景と文化を理解する。このクラスは、KAISEIパーソナリティのIn(国際性)とE(倫理)を養う。

授業の概要

観光とは何か。観光の成り立ちから現代までの観光に関する基礎的な知識の修得。特に、我が国の国際交流と地域観光における歴史、文化の変遷を基本として講義は進められる。その上で、観光が果たす役割や、地域への影響を考え、観光の重要性を理解する。観光概論は、観光領域の入門講座である。

授業計画

1. 観光の定義: 観光の定義と意味
2. 観光の歴史と国際観光: ヨーロッパにおける旅と観光
3. 国内観光: 日本の旅と風俗
4. 観光文化: 観光と地域文化
5. 観光経済: 観光の経済効果
6. 観光政策: 観光行政と政策
7. 観光心理: 観光行動
8. 観光と交通: 鉄道事業と観光
9. 国際観光: 航空運送事業と観光
10. 旅と宿: 宿泊業と観光
11. 交流型観光: 観光と旅行業役割
12. 滞在型観光: 滞在型観光とテーマパーク
13. 地域振興: 地域と観光
14. 情報化社会: ICTにおける観光への影響
15. まとめ: 観光概論のまとめ

授業の方法

テキストとパワーポイントを併用して講義する。講義だけでなくグループディスカッションも取り入れていく。

準備学修

図書館に定期購読されている「観光経済新聞」や旅関連の雑誌等を読んでおくこと。

課題・評価方法

課題30% 統括試験70%

欠席について

本学の規定通り。

テキスト

白土健他『新観光を学ぶ』八千代出版 2017

参考図書

デービット・アトキンソン『新・観光立国論』東洋経済新報社
岡本伸之『観光学入門』有斐閣
北川宗忠『現代の観光事業』ミネルヴァ書房
イザベラバード『日本奥地紀行』平凡社

留意事項

観光領域の基礎科目である。

*注(重要)3年次、4年次に観光を専攻する学生(観光領域ゼミ選択希望者)は必ず履修すること。
ゼミ選考の要件になる。

教員連絡先

ichio@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

基幹科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
国際観光交流論			13427	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
青木 幹生	選択	2	旅行会社 勤務			

授業の到達目標

観光先進国フランスの現状を学び、フランスと比較しながら日本の観光行政、観光資源・宿泊・交通・見本市・国際会議場・エンタテインメントなどの各インフラの問題点を探る。
(このクラスではKAISEIパーソナリティのIn(国際性)を養う。)
世界観光機関(UNWTO)や国土交通省、観光庁のデータをもとにフランス、イタリア、スペイン、アメリカなどの先進事例を参照し日本の現状と今後の歩むべき方向を考える。

授業の概要

視座を観光先進国フランスおよびヨーロッパの観光先進国に定め日本の観光資源・観光行政・観光産業を俯瞰する。
世界観光機関(UNWTO)、OECD、日本の観光庁などのデータを基に日本の観光政策、国際観光、Two-way Tourismの意味、Outbound、Inboundの健全なバランス、Tourism Exchangeの実例、国際交流の意義を理解する。

授業計画

1. 国際観光交流論概要、フランスはどのような国か? 観光立国とは何か、シラバス概要、教科書、評価方法、講師プロフィール
2. 観光大国を支える組織—観光行政の組織
3. 観光大国フランスから学ぶこと。観光産業の地位、産業としての国際観光
4. フランスの魅力、日本の魅力、外国人からみた日本の魅力と問題点。クールジャパン
5. 国際観光客到着数ランキング、外客誘致法、ウエルカムプラン21、新ウエルカムプラン、ビジットジャパンキャンペーン
6. フランス人のバカンス実態、バカンスを支える制度、先進国の余暇事情
7. 日本の余暇事情 休暇に対する日本人の考え方 観光大国の条件
8. ヨーロッパの出国率、日本の出国率、低迷するアウトバウンド
9. 国際観光交流と観光産業、MICE、おもてなし、国際会議場、Two-way tourism 21
10. フランスの観光関連インフラ(宿泊、交通、見本市・国際会議場)
11. 国際観光交流とはなにか。姉妹都市、音楽祭、映画祭、フェスティバル、スポーツイベント
12. 観光産業とIT革命、マルチメディアとツーリズム

13. 持続可能な開発、環境とツーリズム、
14. フランスの問題点、日本の問題点
15. まとめを行ってから試験

授業の方法

講義とグループディスカッションを中心とする。

準備学修

予習・復習として教科書・プリントの指定部分を読む

課題・評価方法

平常点50%、定期試験50%

欠席について

止むを得ない欠席以外は認めない。授業中の活動に重点を置いているので、遅刻、欠席は減点の対象になる。

テキスト

観光大国フランス—ゆとりとバカンスの仕組み—(現代図書) 青木幹生著 教室で直接販売する。割引価格2000円

参考図書

「平成24、25、26年度版観光白書」国土交通省編
「やさしい国際観光」財団法人国際観光サービスセンター、岐部武、原 祥隆著

留意事項

与えられた課題に取り組み結果を教室で発表してもらおう。双方向の爽りある授業を目指したい。

教員連絡先

aokiimikio562@gmail.com

基幹科目〈観光〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
English for Tourism			13937	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
青木 幹生	選択	2	旅行会社勤務、ホテル勤務			

授業の到達目標

このクラスではKAISEIパーソナリティのIn（国際性）について学ぶ。

観光産業に必要な基本的な英語を勉強する。
全国語学ビジネス観光教育協会が実施している民間資格の観光英語検定試験（Tourism English Proficiency Test）の受検指導を行う。

授業の概要

シラバス通りに授業を進めるが、教科書以外の関連英語についても説明するので遅刻、欠席しないこと。

授業計画

1. 講義概要、シラバス、教科書、参考書、授業の進め方、予習・復習、観光英検、授業の規律
2. Tokyo Station
3. Exploring Metropolitan Tokyo
4. Restaurant at Ginza
5. Kakunodate: A Town of Samurai and Cherry Blossoms
6. Old Private Houses in Takayama
7. Hatcho Miso in Okazaki
8. Toyota Automobile Museum
9. Cormorant Fishing
10. Uji Byodoin
11. Kyoto Studio Park
12. International Phone Calls
13. Bakery Shops in Kobe
14. White Heron Castle
15. 試験

授業の方法

CDを活用し授業を進める。
毎回予習・復習をして成果を高めること。

準備学修

CDを何回も聞き予習を行うこと。また分からないことは必ず質問して理解をすること。

課題・評価方法

平常点50%、定期試験50%

欠席について

平常の授業評価が高いので欠席は減点の対象になる。試験で100点満点とつても評価は50%。

テキスト

Discovering Japan through Tourism English「観光英語で日本発見！」英宝社
河原俊昭、榎木蘭鉄也、岡戸浩子、小宮富子、吉川 寛、石川有香、徳地慎二、ジェイムズ・ドレイトン

参考図書

観光英語検定試験全国語学ビジネス観光教育協会が実施している民間資格の観光英語検定試験（Tourism English Proficiency Test）2級、3級の問題集

留意事項

毎回予習、復習の励行。遅刻、欠席無ないように努力すること。

教員連絡先

aokimikio562@gmail.com

展開科目〈英語・言語・文化〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
Oral Communication 500	秋/a/b		13939	Ⅱ・Ⅲ	秋／春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
Cory McKENZIE／Andy RUSHTON／James C.JENSEN	選択	2				

授業の到達目標

This class will strengthen the students' sense of internationality and autonomy.

授業の概要

The purpose of this class is to develop both listening and speaking skills in a variety of situations. The students will participate in group discussions and interviews, identify main ideas and supporting details from listening materials, make inferences and give advice, ask for and give reasons and supporting opinions, and identify facts and opinions.

授業計画

1. Introduction
2. Unit 1 Leisure and Sport
3. Unit 1 Leisure and Sport
4. Unit 2 Firsts and Lasts
5. Unit 2 Firsts and Lasts
6. Review
7. Presentations
8. Mid Term
9. Unit 3 Work and Rest
10. Unit 3 Work and Rest
11. Unit 4 Special Days
12. Unit 4 Special Days
13. Review
14. Presentations
15. Presentations

授業の方法

Students will work together in pairs and groups.

準備学修

Be familiar with the textbook: preview and review

課題・評価方法

Your final grade will be determined using the following scale:

Final Exam 20%
Tests and Quizzes 10%
Presentations 40%
Class Participation 20%
Homework 10%

欠席について

100% attendance is expected for this course. If a student is unable to attend a class then the student must submit a "Notification of Exceptional Absence". If a student is absent for more than 1/3 of the course without the above notification then no credit will be given.

テキスト

Longman Cutting Edge Pre-Intermediate, 3rd ed. Sarah Cunningham, Chris Redston with Peter Moor

参考図書

Will be assigned as needed

留意事項

Active participation in class is essential